

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年02月15日

計画の名称	神戸港における総合的な海岸保全施設の整備												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和03年度 (2年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	神戸市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸港全体の海岸保全施設の老朽化対策を進め、効率的な維持管理を推進する。 ・近年の大型化する台風対策として、排水機場等の大規模更新を促進する。 												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	4,138	A	4,138	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R3末	R3末
1	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理計画を基とした防潮堤等の老朽化対策の推進により、整備計画内での老朽化対策整備率が100%の状態を維持することで、防災面積(1,159ha)を確保(機能維持)する。 ・老朽化対策整備率の維持による防災面積の確保(機能維持) 	0km	12km	12km
2	<ul style="list-style-type: none"> ・陸開の胸壁化を促進し、高潮や津波に対する防災対策の簡素化を促進する。 ・老朽化対策整備率の維持による防災面積の確保(機能維持) 	0km	12km	12km
3	<ul style="list-style-type: none"> ・排水機場等を対象とした大規模更新の推進により、防災面積(1,159ha)を確保(機能維持)する。 ・排水機場の大規模更新の促進による防災面積の確保(機能維持) 	0基	1基	1基

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
R4から海岸メンテナンス事業に移行														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
海岸事業	A09-001	海岸	一般	神戸市	直接	神戸市	老朽化	港湾	神戸港海岸 海岸堤防等 老朽化対策緊急事業(1-A-5)	(深江浜地区ほか)胸壁・護岸・水門等の改修 等	神戸市						1,195	-	策定済	
	A09-002	海岸	一般	神戸市	直接	神戸市	老朽化	港湾	神戸港海岸 排水機場等 老朽化対策緊急事業(1-A-8)	(深江浜地区ほか)排水施設補修	神戸市						2,743	-	策定済	
	A09-003	海岸	一般	神戸市	直接	神戸市	老朽化	港湾	神戸港海岸 海岸堤防等 老朽化対策緊急事業(1-A-9)	(東神戸・中神戸・西神戸地区)海岸保全施設の長寿命化計画(維持管理計画)更新	神戸市						200	-	策定済	
												小計						4,138		
												合計						4,138		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 神戸市において、評価を実施。	事後評価の実施時期 令和6年1月
	公表の方法 神戸市のホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none">・維持管理計画を基とした防潮堤等の老朽化対策の推進により、整備計画内での防災面積の確保を着実に進捗させた。・陸閘の胸壁化を促進し、津波や高潮に対する防災対策の簡素化を着実に進捗させた。・排水機場の大規模更新による防災面積の確保を着実に進捗させた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none">・さらなる海岸保全施設の老朽化対策を進め、海岸保全施設の長寿命化を図る。・近年の大型化する台風対策として、排水機場等の大規模更新を推進する。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	12km	対象施設周辺企業との調整協議が難航し、事業に遅れが生じたため、最終目標値(12km)を達成できなかった。
	最終実績値	1km	
2	最終目標値	12km	対象施設周辺企業との調整協議が難航し、事業に遅れが生じたため、最終目標値(12km)を達成できなかった。
	最終実績値	1km	
3	最終目標値	1基	関係者との方針協議が難航し、事業に遅れが生じたため、最終目標値(1基)を達成できなかった。
	最終実績値	0基	